

## オンライン 3D 点群処理ソフトウェア「スキャン・エックスクラウド」 国土交通省の新技术情報提供システム NETIS に登録

スキャン・エックス株式会社（本社：東京都新宿区、代表：宮谷聡、ホン・トラン）が提供する、レーザーキャナーやLiDARなど各種機器で取得した3D点群データの、高精度なクラス分類・解析が出来るオンラインソフトウェア「スキャン・エックスクラウド」が、国土交通省の新技术情報提供システム NETIS（New Technology Information System、以下 NETIS）に登録されました。

「スキャン・エックスクラウド」は、3D点群データを簡単に処理・解析・共有することが出来るオンラインプラットフォームです。自動クラス分類により、3D点群データのクリーニング作業工数を大幅に削減出来ます。パソコンとインターネット環境だけあれば、どこでも3D点群データ解析が可能で、複数現場のデータのアップロードや編集作業を複数ユーザーが同時にオンラインで行えるため、作業効率が大幅に向上します。

NETISとは、国土交通省が新技术の活用のため、新技术に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムです。NETISに登録された技術を活用することにより、公共工事等の工事成績評定での加点対象となります。

### NETIS 登録情報

新技术名称：オンライン 3D 点群処理ソフトウェア「スキャン・エックスクラウド」

NETIS 番号：KT-210020-A

登録日：2021年6月8日

登録ページ：<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-210020%20>

### 「スキャン・エックスクラウド」の活用で期待される効果

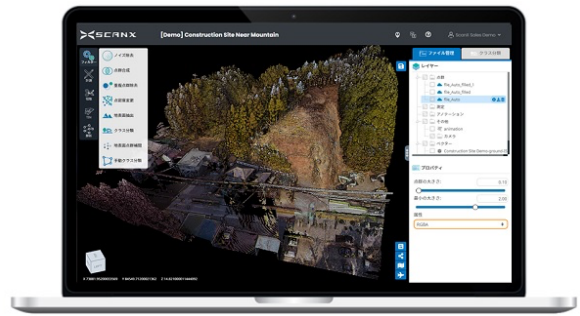
- **作業時間の短縮**
  - 自動で3D点群データの地表面、樹木、建物、ノイズを判定し、従来最も工数がかかっていた点群のゴミ取りやクリーニング作業を自動化、作業時間を大幅に短縮。
  - 人による確認作業が不要となり、PCによる自動処理が夜間でも可能になるため、工程の短縮が図れる。
- **作業効率向上**
  - 低価格（1ライセンス月額29,800円〔税込〕）で、パソコンとインターネット環境さえあれば、どこでも、いつでも3D点群データの解析が可能。
  - クラウドのため、複数現場のデータを複数ユーザーで同時に処理出来、作業効率を大幅に向上出来る。
  - オンラインでデータ共有が可能。災害など迅速な対応が必要な状況にもスムーズ。
  - 「遠隔臨場」や「リモート現場監督」を推進し、ニューノーマルの働き方を積極的に支援。
- **品質向上**
  - 初心者でも使い易く、自動で難度の高い情報の抽出・分類が可能のため、品質の向上が図れる。
- **高度なデータ解析**
  - 個別樹木情報等の抽出、森林台帳作成など高度な解析にも対応。

## 会社概要

スキャン・エックス(株)は、海外スタートアップで働いていた日本人とオーストラリア人が偶然出会い、2019年に設立したスタートアップです。世界中の鉱山、建設現場、オイル・プラントを3Dデータ化してきた私たちは、各種機器で取得した3D点群データをオンラインで高精度なクラス分類・解析が出来るソフト「スキャン・エックスクラウド」(1ライセンス月額29,800円(税込))を提供しています。スマートシティ推進にあたって、国土交通省もデジタルツインの実現化を目指すなど、3D点群データの活用はますます期待されています。産業別の高度な点群解析など、ご要望に応じた解析も行っています。

少子高齢化やコロナ禍のニューノーマルに合わせて建設現場の働き方も変化していくため、「スキャン・エックスクラウド」は利用者の皆様からの声を反映し、進化していきます。ソフトを提供する側と利用する側ではなく、利用者の皆様と共に、3D点群データの活用の幅が広がるよう取り組んでいます。

社 名：スキャン・エックス株式会社  
設 立：2019年10月  
本 社：東京都新宿区  
支 社：オーストラリア・ブリスベン  
代 表 者：宮谷 聡、ホン・トラン  
ホームページ：<https://scanx.com/ja>  
T E L：050-1742-3040



「スキャン・エックスクラウド」点群処理画面